

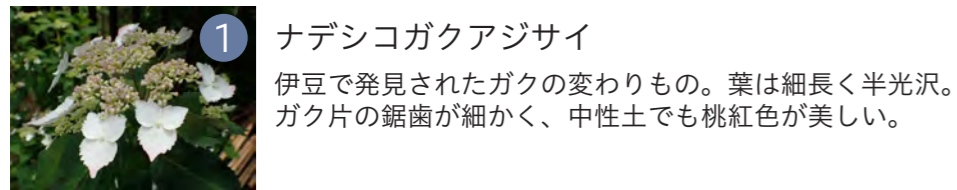
# 長池公園 あじさいマップ

系統  
● ヤマアジサイ系統（自生種）  
● ガクアジサイ系統（自生種）  
● 西洋アジサイ

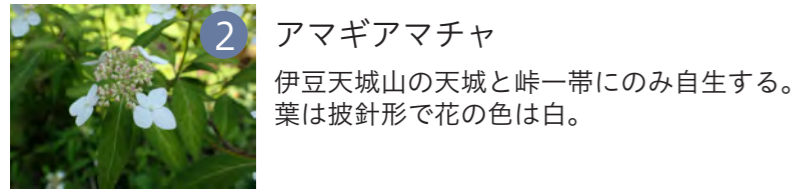
お問い合わせ先  
長池公園 自然館 Tel 042-678-4616

## 品種一覧

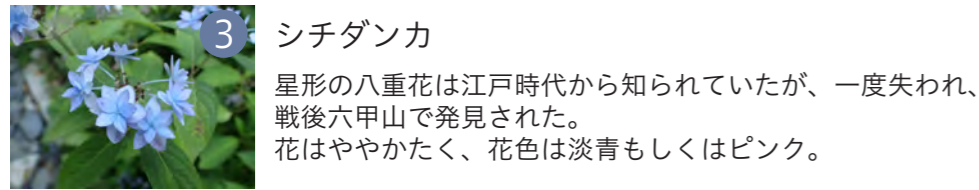
- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| ① ナデシコガクアジサイ（撫子）     | ⑩ ミライ（未来）             |
| ② アマギアマチャ（天城甘茶）      | ⑪ ミカンバガクアジサイ（蜜柑葉）     |
| ③ シチダンカ（七段花）         | ⑫ ジュンスイ（潤水）           |
| ④ モモイロヤマアジサイ（桃色山紫陽花） | ●                     |
| ⑤ ヤマアジサイ（山）          | ⑭ ウズアジサイ（渦）           |
| ⑥ アイヒメ（藍姫）           | ⑮ アナベル                |
| ⑦ ヨウキヒ（楊貴妃）          | ⑯ ピンクアナベル             |
| ⑧ ノウムラサキ（濃紫）         | ⑰ ヘイズスターバースト（八重咲アナベル） |
| ●                    |                       |



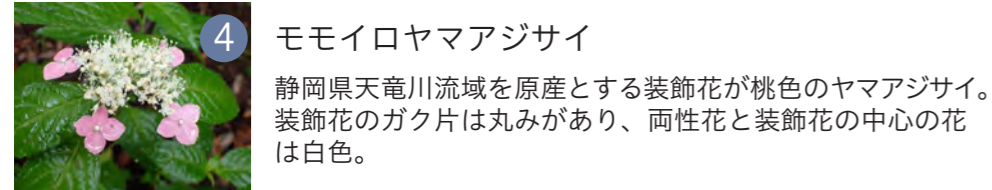
① ナデシコガクアジサイ  
伊豆で発見されたガクの変りもの。葉は細長く半光沢。ガク片の鋸歯が細かく、中性土でも桃紅色が美しい。



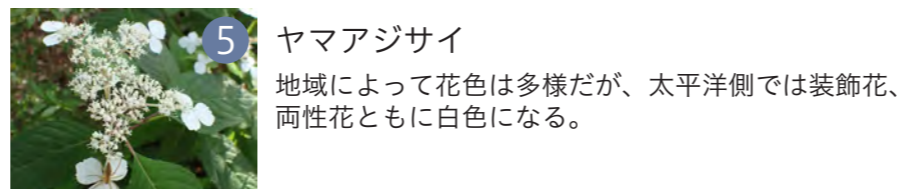
② アマギアマチャ  
伊豆天城山の天城と峠一帯にのみ自生する。葉は披針形で花の色は白。



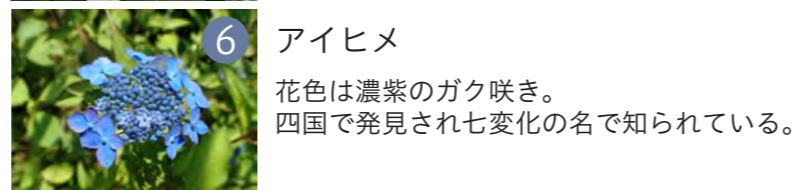
③ シチダンカ  
星形の八重花は江戸時代から知られていたが、一度失われ、戦後六甲山で発見された。花はややかたく、花色は淡青もしくはピンク。



④ モモイロヤマアジサイ  
静岡県天竜川流域を原産とする装飾花が桃色のヤマアジサイ。装飾花のガク片は丸みがあり、両性花と装飾花の中心の花は白色。



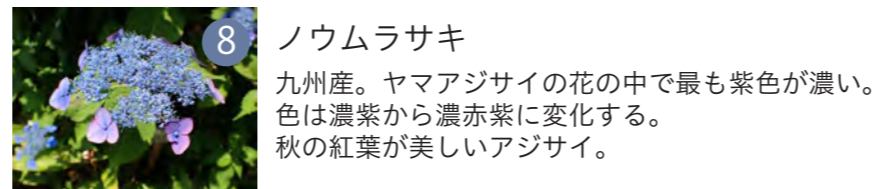
⑤ ヤマアジサイ  
地域によって花色は多様だが、太平洋側では装飾花、両性花ともに白色になる。



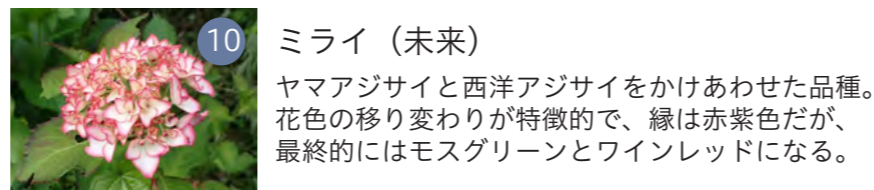
⑥ アイヒメ  
花色は濃紫のガク咲き。四国で発見され七変化の名で知られている。



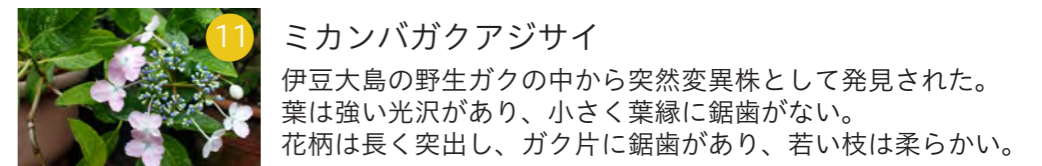
⑦ ヨウキヒ  
熊本県産のヤマアジサイ系の品種。装飾花は赤紫で両性花は青色。



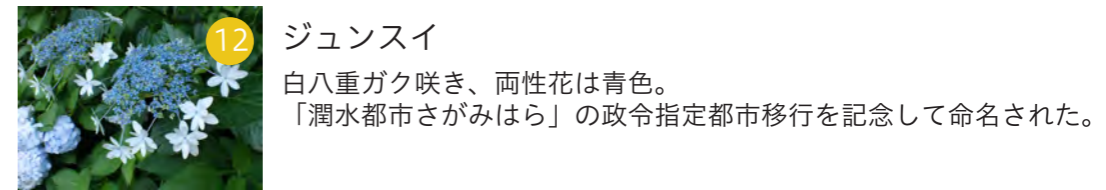
⑧ ノウムラサキ  
九州産。ヤマアジサイの花の中で最も紫色が濃い。色は濃紫から濃赤紫に変化する。秋の紅葉が美しいアジサイ。



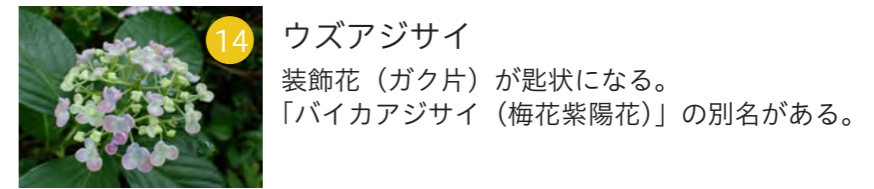
⑩ ミライ（未来）  
ヤマアジサイと西洋アジサイをかけあわせた品種。花色の移り変わりが特徴的で、縁は赤紫色だが、最終的にはモスグリーンとワインレッドになる。



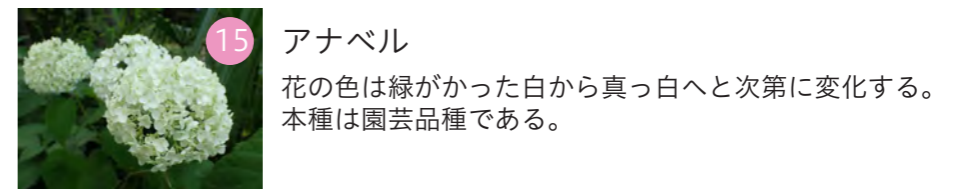
⑪ ミカンバガクアジサイ  
伊豆大島の野生ガクの中から突然変異株として発見された。葉は強い光沢があり、小さく葉縁に鋸歯がない。花柄は長く突出し、ガク片に鋸歯があり、若い枝は柔らかい。



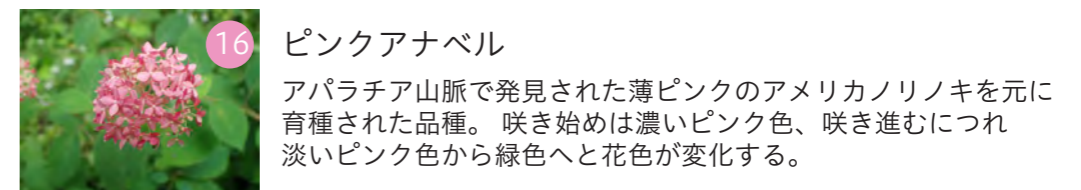
⑫ ジュンスイ  
白八重ガク咲き、両性花は青色。「潤水都市さがみはら」の政令指定都市移行を記念して命名された。



⑭ ウズアジサイ  
装飾花（ガク片）が匙状になる。「バイカアジサイ（梅花紫陽花）」の別名がある。



⑮ アナベル  
花の色は緑がかった白から真っ白へと次第に変化する。本種は園芸品種である。



⑯ ピンクアナベル  
アパラチア山脈で発見された薄ピンクのアメリカノリノキを元に育種された品種。咲き始めは濃いピンク色、咲き進むにつれ淡いピンク色から緑色へと花色が変化する。

